

座談会形式講演会

# 人生の先達から学ぶ戦争と播磨の歴史

国民学校初等科1年生の時に終戦を迎えた上谷昭夫さんは、戦前から戦中、戦後の混乱期、復興期、高度経済成長期、日本初のオリンピックと、私たち現役青年部会員が知らない時代をここ播磨でたくましく生き抜いてこられました。戦時中の記憶をとどめる最後の世代である上谷さんの体験をお聞きすることで、人間の本质に触れ、これからの時代を生きるヒントを学びたいと思います。さらにそれを私たち一人ひとりが次の世代へとつないでいきっかけになればと考えています。



うえたに あき お  
【講師】上谷 昭夫  
(司会：合楽 仁美)

## ■上谷 昭夫 プロフィール

昭和13年生まれ。郷土戦史研究家。  
一般社団法人鶴野平和祈念の碑苑保存会理事。  
明機産業株式会社副参事。  
いなみ野学園特任講師。  
高砂市「高砂学」市民講師。  
鶴野飛行場「資料調査会」代表。

■合楽 仁美 プロフィール  
ライター／アナウンサー。  
姫路市の広報専門職員を経て、  
NewsPicks(ニューズピックス)での  
記事構成や地域の媒体で活動中。



【開催日時】

7/16 火 19:00開演

【開催会場】

姫路商工会議所 本館2階大ホール



姫路商工会議所 青年部 愛燦燦委員会  
Himeji Youth Entrepreneurs Group

# 講演の前に

## ■上谷さんの歩みと社会の動き

昭和	4年	6月	父 現役兵として平城第77連隊6中隊に入営
	6年		●満州事変が起きる
		1月	●姫路城が国宝に指定される
	8年		●日本が国際連盟から脱退する
	12年		●日中戦争が起こる
	13年	11月	京都府右京区に生まれる
	15年	8月	兵庫県加古郡荒井村へ
	16年		●大東亜戦争が始まる
	18年	3月	2歳の弟が病死
		7月	●川西航空機姫路製作所が創業
		10月	5歳の姉が病死
	19年	9月	父 再び臨時召集により姫路中部第50部隊に応召
	20年	4月	荒井村立荒井国民学校に入学 父 召集免除
		6月	●姫路市第一次被爆。川西航空機工場等が被害を受ける
		7月	姫路に夜間爆撃 ●第二次被爆により姫路都心部が壊滅 明石に夜間爆撃
		8月	●大東亜戦争が終わる 玉音放送を聞く
	21年	3月	●9市町が解体合併し新しい姫路市が誕生
		4月	2歳の弟が病死 ●日本国憲法が公布される
	26年	12月	姫路市立動物園が開園
	29年	4月	高砂高校に入学
	31年	10月	●太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔が建立される
	32年	4月	姫路の企業に勤める
	39年		●東京・大阪間に新幹線が開通
			●オリンピック東京大会が開催される
	41年	4月	●姫路大博覧会が開催される
		5月	●姫路市営モノレールが開通する
45年		●大阪万国博覧会が開催される	
47年	3月	●山陽新幹線が大阪-岡山間で開通 姫路駅が新設される	
50年	12月	●国道二号線姫路バイパス線開通	
51年	8月	鶉野飛行場の調査に関わる	
平成	3年	4月	●姫路文学館が開館
	5年	11月	本格的に鶉野飛行場の調査を始める
	11年	10月	飛行場跡に平和記念の碑を建立 鶉野平和記念の碑苑保存会が発足
	26年	4月	飛行場資料館を設置

### 姫路海軍航空隊

姫路海軍航空隊は、昭和18年10月、加西市の鶉野地区に開設されました。パイロット養成のための実用機練習航空隊で、通信省や海軍の飛行訓練生などが実戦のための飛行訓練を積みました。昭和20年2月には神風特攻攻撃隊が結成され、姫路城にちなんで「白鷺隊(はくろたい)」と名付けられました。白鷺隊は同年4月から5月にかけて、鹿児島県の串良基地から計6回出撃。21機63人が犠牲になっています。



鶉野飛行場

### 川西航空機

鶉野には、姫路海軍航空隊のほかに川西航空機の組み立て工場がありました。JR播但線京口駅近くに川西航空機姫路製作所があり、そこで作った航空機を分割して運び、鶉野で組み立てて海軍の滑走路でテスト飛行を行っていました。最強の戦闘機といわれた「紫電改」もここで作られました。鶉野には海軍の基地と民間の航空機メーカーが併設されていたのです。現在、姫路海軍航空隊と川西航空機のあった場所は「鶉野飛行場跡」として残されています。

### 姫路空襲

姫路では昭和20年6月22日と7月3日の2度、B29による空襲がありました。1度目は川西航空機姫路製作所が、2度目は姫路駅周辺や飾磨の一部などが爆撃に遭いました。この2度の空襲で姫路の街は火の海になり、死者は約500人にのぼりました。しかし、姫路城は奇跡的に被害を逃れました。アメリカ軍が爆撃を避けたわけではなく、偶然だったそうです。2回の空襲に耐えて残った姫路城は「不戦の城、平和の城」とも呼ばれています。

### 手柄山慰霊塔

手柄山中央公園のいちばん高い場所に、大きく背の高いモニュメントがあります。日本全国の空襲で犠牲になった民間人51万人の御霊を祀る「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」です。天に伸びる細長い形は「もう戦争はしない」と剣を地面に突き刺し、収めた様子を表しています。「全国戦災都市連盟」が発祥の地である姫路市に建設することを決め、昭和31年に完成しました。竣工記念日である10月26日には毎年、空爆犠牲者の追悼式が行われています。



天に伸びる細長い形は「もう戦争はしない」と剣を地面に突き刺し、収めた様子を表しています。「全国戦災都市連盟」が発祥の地である姫路市に建設することを決め、昭和31年に完成しました。竣工記念日である10月26日には毎年、空爆犠牲者の追悼式が行われています。